



江別のみなさん、こんにちは。
12月です。今年も残すところ1ヶ月となりました。
早いですね～！
これからの時季、雪道で足を取られる事が多くなり、
大きな怪我に繋がってしまいがちです。
外出の際には、足下にも十分注意しましょう！

東京防災へ



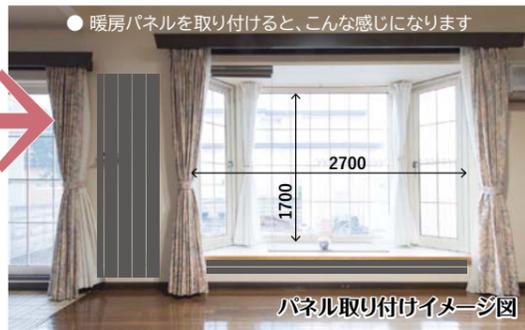
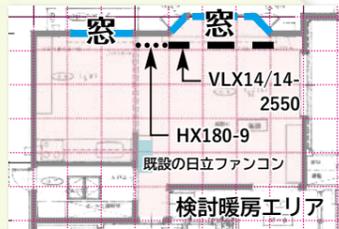
防災準備を
始めましょ
う！！

代表取締役社長 石崎 昭仁

普段のなんとなく・・・を改善！

師走になり色々と気ぜわしい時期です。現在リフォーム工事を施工する前のA様邸の、リフォームに至るまでの経緯をお聞きしました。

今までなんとなく・・・感じていたことを真剣に考えてみたとの事です。A様ご自身で色々と改善方法を考え、まず第一段階で暖房容量不足では？と思った様です。建築時期は昭和62年、そろそろ築33年です。こちらの住まいは、セントラルヒーティング(全館暖房)の走りで、当時の暖房計画は、全館暖房という考えが主流ではありませんでした。そのような理由でしょうか？、暖房器具の配置にチグハグ感が見られます。また、当時は暖房計画、Q値算出など具体的な検証方法は一般的ではなく、メーカーさんが算出するデータを参考に経験から台数を選択していました。



室温は十分なのだが、なんとなく足下が・・・というお宅を拝見すると、コールドドラフトの影響により足下がすずすずするというものでした。

以前からアイホーム通信でお話ししてきた内容を見て問い合わせをして頂きました。早々に、建物の断熱性能Q値を算出し、必要暖房容量を計算してみました。

Q値は昭和62年の建物ですので1.95W/m²・kと、現在の基準から見て、劣っている事は否めません。ご提案事項は・・・

- 窓の断熱補強(内窓設置)
- 窓サッシの高断熱化(サッシ交換)
- 暖房器具の増設(窓下に放熱板を追加)

色々考えこの3点を候補にご提案しました。内窓の設置は工事的に見て簡単に設置できますが、暖房容量不足を根本的には改善できません。しかし改善効果は期待できます。(コールドドラフトの改善) 窓サッシの交換についても、現在のサッシは当時と比較すると大幅に性能がアップしていますので、効果はかなり大きいと思います。しかし工事費用がかなり高額となります。

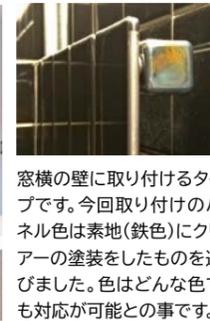
以上の2点は暖房容量が不足し、お客様の不快感(断熱不足に起因する問題)を改善する為に、断熱性を高めるという考えです。

しかし初めに感じた暖房容量不足では？・・・については、改善ができていません。そこで個別暖房的な発想で、LDKの必要暖房容量を計算した所、約3000kcal必要との事でした。



お知らせ
Q値算出は有料オプションになります。建設時の設計図書・仕様書が必要になります。

そこで現在ついている30年使用したファンコンを通常使うのではなく補助に考え、窓下と外壁に温水のパネルヒーターをメイン暖房とする改善方法を検討してみました。費用や時期的な事などを考え、放熱板の追加によりコールドドラフト防止策を第一にご選択いただきました。



パネルヒーターは北海道北広島市に工場を構える、PS社という完全オーダー仕様の器具を採用しました。製品製作は1ヶ月かかるとの事で、本当はこの号でご紹介したかったのですが、ちょっと製品が間に合わずという感じで、過去の施工物件よりイメージをご紹介します。

このパネルの特徴は・・・性能的には、どこのメーカーさんも変わらないとの事です。なら、何が・・・というデザイン、サイズ、色です。通常は規格サイズの中から合う物を選びますが、パネルの枚数、長さ、フィンの有無など詳細に選ぶ事ができるという所です。

どちらかというと、少しマニアックな商品です。住まいのデザイン、仕様など、こだわりを持ってデザインしたい!と仰る方に、おすすめの商品です。

インプラス

窓まわりのスースーを防止
灯油の節約に!

今付いている窓
今付いている窓に
ただ内窓を取り
付けるだけ
0.2㎡
13,000円

断熱性
(社内標準による)

取付け前 (単板ガラス3mm)	取付け後 (単板ガラス3mm+単板ガラス3mm)
H-5等級 [別内窓] 外窓(単板ガラス) +内窓インプラス(単板ガラス)使用時	H-4等級 [別内窓] 外窓(単板ガラス) +内窓インプラス(単板ガラス)使用時

■ 冬季における表面温度の比較 窓の室内側
(LIXIL社内窓標準仕様 窓外0℃、室内20℃)
設置インプラスは、H+4 等級の断熱性能を有する

サッシの交換、リプラスという商品です。

完了イメージ

新設サッシ
室内モール
追加木枠(窓台)
既設窓枠(額縁)
既設サッシ
室外モール

1. 障子を外す
2. 土台を作り、新しい窓を取付ける
3. 室内・室外にモールをかぶせて施工完了

インプラスは一般的な内窓を取り付ける方法です。リプラスは、今ある樹脂サッシ、アルミサッシの枠を残し、新しいサッシをはめ込む工法です。外壁を傷める事なく、補修を最小限に抑える為、工事期間が短くて済みます。おすすめですね！

*10月18日発表 9月現在の予算消費額:52億7千万ポイント 消費率 4.054% (予算1,300億円)

朝晩の寒さには十分注意が必要です!

温度差には、十分気をつけましょう!!

お風呂場の室温と脱衣場の室温、そしてお湯の温度。この温度差に十分注意が必要です。また、42℃以上のお湯に急につかると血圧が急上昇し、色々な症状が現れます。くれぐれも急の付く動作には注意が必要です。まずは脱衣場の室温とお風呂場の室温を上げ、ヒヤッとしない温度設定にする必要があります。これからは朝晩、冷え込む季節です。室温と浴室の温度差には注意が必要です。

